

### \*お買い上げありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

© 2011 JVC KENWOOD Corporation  
LNT0138-001A

### 主な仕様

#### 一般仕様

送信周波数帯	2.4 GHz 帯
変調方式	その他の方式
受信距離	約 30メートル*

- \* ご使用の環境により変化します。

#### 送信機 (SP-A750T)

電源	DC 5 V (専用ACアダプター使用)
音声入力	φ3.5 mm 金メッキステレオミニプラグ
外形寸法	幅 16.2 cm × 高さ 3.3 cm × 厚さ 7 cm
質量	約138 g

#### スピーカー (受信機 SP-A750R)

スピーカーユニット	口径 40 mm × 2
電源 (内蔵)	専用リチウムポリマー充電電池 (3.7 V/2500 mAh) × 1 (スピーカー用ACアダプター JD1005-000 使用可能)
実用最大出力	1 W + 1 W JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値
電池持続時間	約20時間 (専用リチウムポリマー充電電池使用時、5 mW + 5 mW 出力時) (使用条件により異なります)
外形寸法	幅 16 cm × 高さ 14 cm × 厚さ 7.6 cm
質量	約462 g (充電電池含む)

- ・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

## 保証とアフターサービス

### ●保証書は必ずお受け取りください

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

### ●保証期間について

保証期間はご購入日より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

### ●補修用性能部品の保有期間について

当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

ワイヤレススピーカーシステム [SP-A750]  
お名前とおところ  
電話番号  
故障症状 (詳しく)

なお、修理のご用命の際は、必ず本システム全体をご持参ください。

●アフターサービスについてご不明な点はこちら  
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は	
JVC製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。	
お買い物相談や製品についての全般的なご相談 JVCケンウッドカスタマーサポートセンター	
<b>0120-2727-87</b> 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は 電話 (045) 450-8950 FAX (045) 450-2308 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12	

ホームページ <http://www.jvckenwood.co.jp/>  
株式会社 JVCケンウッド  
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

## ワイヤレス機能について

■本製品は2.4 GHzの周波数帯域を使用します。他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用しています。

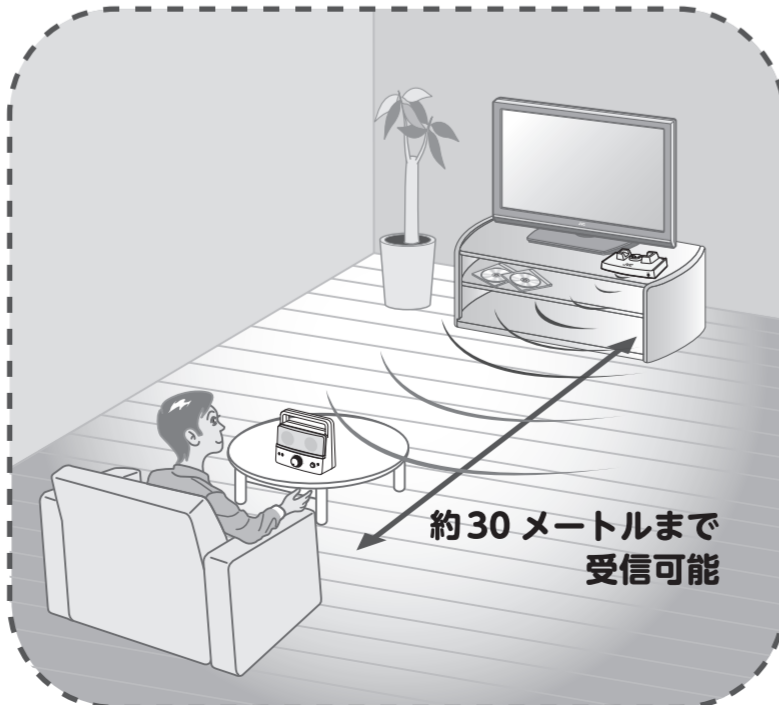
- ・本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用していないことを確認してください。
- ・万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止(電波の発信を停止)してください。
- ・そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

### ワイヤレススピーカーの受信距離について

本製品は、送信機に接続した機器の音声をスピーカーで無線受信します。

送信機から受信可能な距離は、約30メートル\*です。

- \* 送信機から受信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造により異なります。送信機とスピーカーの間に電波をさえぎる障害物(金属のドア、壁など)があると、受信距離は短くなります。また、送信機は電波を反射しやすい壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックなどの場所を避けて設置してください。



## 安全上のご注意

ご使用前のこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ●絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>危険</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	<b>警告</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

- 万、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。
  - ・ 煙が出ている、異臭がする
  - ・ 内部に水や物が入ったとき
  - ・ 落したり、破損したとき
  - ・ 電源コード(ACアダプター)が傷んだとき
 このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。故障、火災・感電の原因になります。
- 不安定な場所に置かない。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。
- スピーカー本体を充電するときは、必ず送信機または専用のACアダプターを使用する。

- コードは伸ばして使用する。釘などの固定や、束ねたままでの使用はしない。
- 本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。頭からかぶると窒息の原因となります。
- 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない。ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受ける恐れがあります。
- 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- 電子レンジや高圧容器に入れない。
- 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。
- 直射日光の強い所や、炎天下の車内など高温になる場所で使用、放置しない。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
- 使用後は、機器のスイッチを必ず切る。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
- 電源プラグ(ACアダプター)を抜くときは電源コードを引っ張らない。コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグ(ACアダプターの本体)を持って抜いてください。
- ACアダプターの取り扱いについて。この機器には専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因になることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。
- 手が濡れた状態で送信機の充電端子を触らない。

- 火のそばや熱器具の周辺など高温になる場所で、使用したり、充電したり、放置しない。
- コネクターをショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。感電の原因になります。

### ●絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を指示する記号	行為を禁止する記号

### ⚠ 注意

- 充電式リチウムポリマー電池について
  - 充電電池を交換するときはコネクターを機器の表示のとおりに入れる。
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - コネクターをショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。
  - 変形させたり、分解、改造したり、直接はんだ付けしない。故障、火災・感電の原因になります。
  - 電子レンジや高圧容器に入れない。
  - 充電の際に所定の充電時間(約5時間)を超えても、充電が完了しない場合は、充電をやめる。
  - 電池の使用、充電中、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいたら、機器から取り外し使用を中止する。
  - 電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。誤って飲み込み恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
  - 指定以外の充電電池は使用しない。充電電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
  - 万一、漏れた液体が目に入ると、失明の恐れがあるので、こすらないですぐにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。また、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
  - 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。
  - 長時間使用しない場合は、使用機器から充電電池を取り出して、常温の湿気の少ないところで保管する。充電電池から液がもれて、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

- 充電式リチウムポリマー電池について
  - 充電電池を交換するときはコネクターを機器の表示のとおりに入れる。
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - コネクターをショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。
  - 変形させたり、分解、改造したり、直接はんだ付けしない。故障、火災・感電の原因になります。
  - 電子レンジや高圧容器に入れない。
  - 充電の際に所定の充電時間(約5時間)を超えても、充電が完了しない場合は、充電をやめる。
  - 電池の使用、充電中、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいたら、機器から取り外し使用を中止する。
  - 電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。誤って飲み込み恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
  - 指定以外の充電電池は使用しない。充電電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
  - 万一、漏れた液体が目に入ると、失明の恐れがあるので、こすらないですぐにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。また、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
  - 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。
  - 長時間使用しない場合は、使用機器から充電電池を取り出して、常温の湿気の少ないところで保管する。充電電池から液がもれて、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

### 充電式内蔵リチウムポリマー電池のリサイクルについて

充電式リチウムポリマー電池はリサイクルできます。処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、コネクタ部にテープなどを貼り付けてください。



美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルの協力しましょう。ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ。

お問い合わせ:  
有限責任中間法人 JBRC  
<http://www.jbrc.net/hp/>

### 付属品・添付物

- ・保証書 × 1
- ・取扱説明書 × 1
- ・専用ACアダプター × 1
- ・変換コード × 1 (φ3.5 mm 金メッキステレオミニジャック・ピンプラグ × 2)

### 部品交換・購入の際には

以下の部品は消耗品です。ご購入の際、またはお問い合わせの際は、下記の型名と品名、部品番号を、本製品をお買い上げいただいた販売店、または最寄りのサービス窓口へお伝えください。  
型名: SP-A750  
品名: リチウムポリマー充電電池  
部品番号: JD1006-000

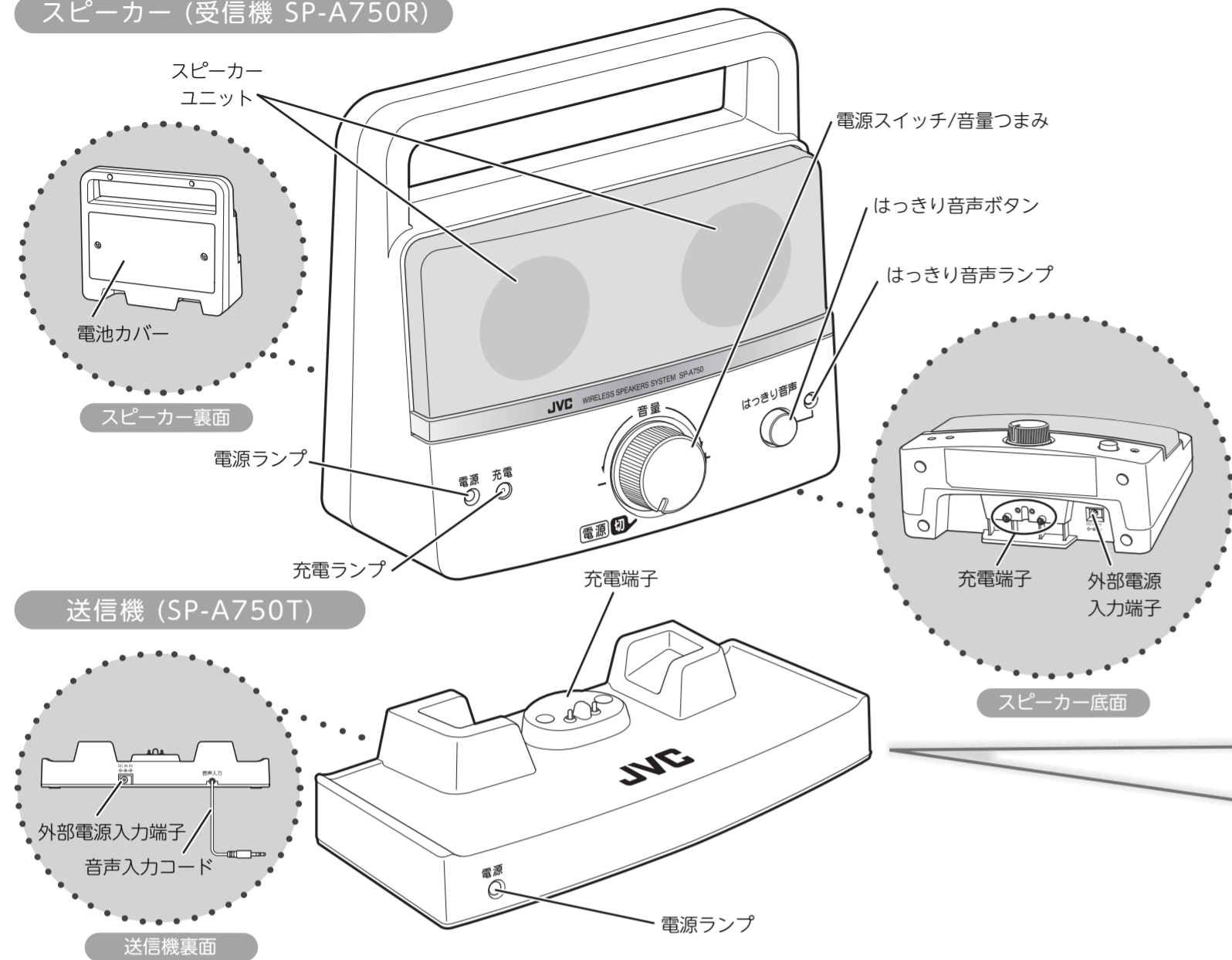


# スピーカーを使う

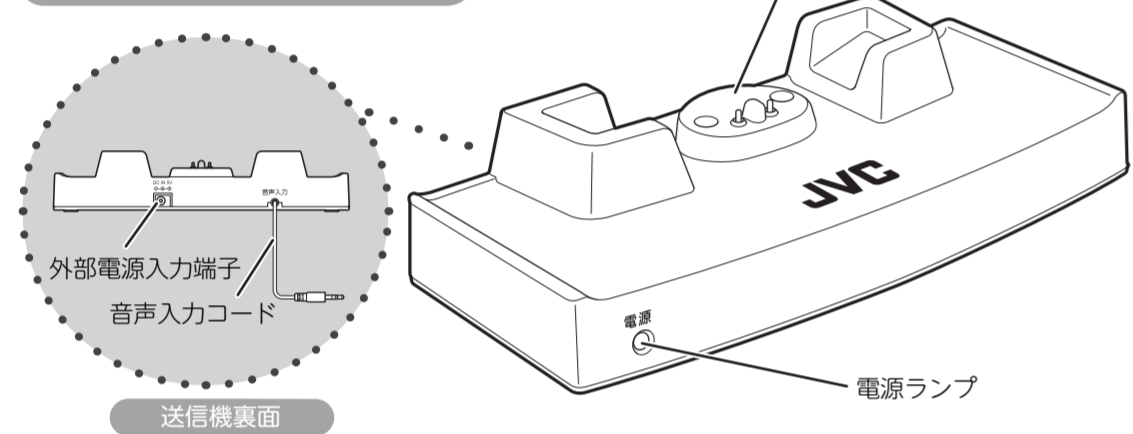


はじめてお使いになる前には、スピーカーの内蔵充電電池を充電してください。

## スピーカー (受信機 SP-A750R)



## 送信機 (SP-A750T)

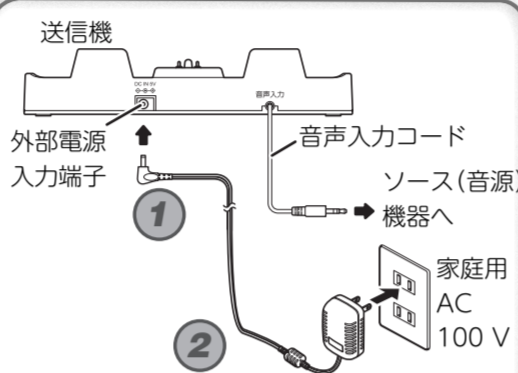


## 電源ランプについて

	使用中 / 接続中	充電電池残量少	接続中中断時	充電電池残量少かつ接続中中断時
スピーカー	● みどり色	● だいたい色	☀ みどり色	●↔● だいたい色 赤色 (交互に)
送信機	● みどり色	—	○	—

・音声の入力が3分間ないときは、送信機からの電波を停止します。

☀ : 点滅します。  
○ : 点灯しています。  
● : 消えています。



1 送信機にACアダプターを接続する。

2 コンセント(家庭用AC100V)に接続する。

スピーカーと接続すると、電源ランプが点灯します。

・故障の原因になりますので、必ず付属の専用ACアダプターをご使用ください。

・長時間お使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

## 使用上のご注意

■ 病院など、使用が制限または禁止されている場所では電源を切り、使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

■ 本機は、傾いた場所や不安定な場所におくと落下し、故障やけがの原因になる場合があります。安定した水平な場所においてください。また、本機を持ち運ぶときも落下にご注意ください。

■ コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持って抜いてください。

■ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、湿度の多いところでの使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。

■ 傷が付きやすいので、メガネ拭き用の布で汚れを軽く拭き取ってください。

■ 汚れがひどい場合は中性洗剤などでふきとってください。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。

■ 本機の近くでラジオや携帯電話などをお使いになると、ノイズが入ることがあります。そのときは本機から離してください。

## 操作する

- 1 ソース(音源)機器の電源を入れる。
- 2 スピーカーの電源スイッチを軽く右に「カチッ」という音がするまで回し、電源を入れる。

電源ランプが点灯します。

- 3 スピーカーの音量つまみを回して音量を調節する。

- ・音量つまみを最大にしても音が小さい場合は、ソース(音源)機器の音量を上げてください。
- ・音がひずむ場合は音量を下げてください。

## ご注意:

- ・長時間音がひずんだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、発火の原因になることがあります。
- ・スピーカーの内蔵充電電池の残量が少なくなると、電源ランプがだいたい色に点灯します。スピーカーの電源を切り、充電してください。

## お聞きの声が聞き取りにくいときは

はっきり音声ボタンを押す。

はっきり音声ランプが点灯します。

- ・もう一度押すと、はっきり音声効果が消え、ランプも消えます。

## 聞き終わったときは

スピーカーの電源スイッチを左に「カチッ」という音がするまで回し、電源を切る。

電源ランプが消えます。

## 接続する

ヘッドホンプラグやピンプラグを抜き差しするときは、接続するソース(音源)機器の電源を切るか、音量を最小にしてください。

ソース(音源)機器のヘッドホン端子と送信機を音声入力コードで接続する。

## ご参考に

ヘッドホン端子にプラグを接続すると音が出なくなるテレビがあります。その場合でも、テレビにライン出力端子がある場合は付属の変換コードを使ってライン出力端子に接続することで、テレビと本機の両方から音声を出力することが可能になります。

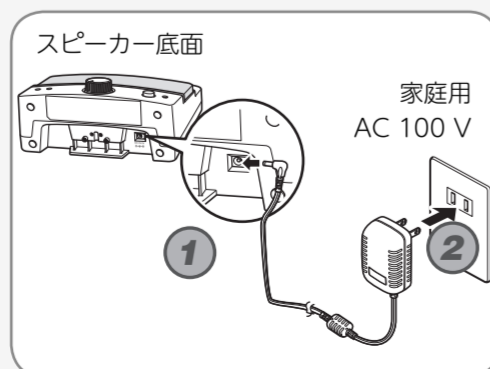
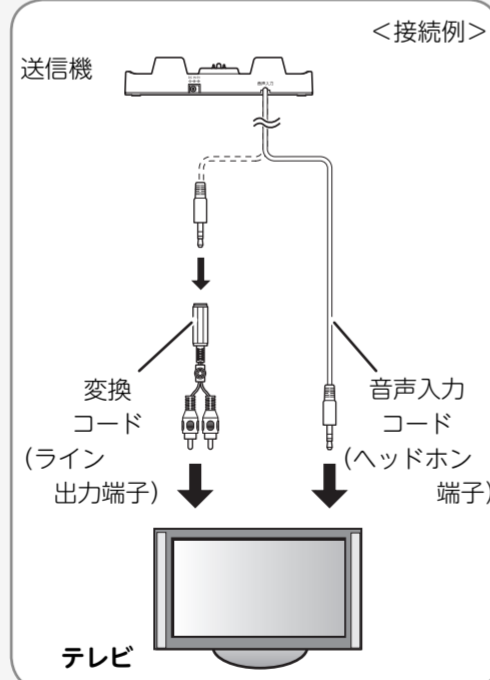
## スピーカー用ACアダプターでスピーカーを使う

スピーカー用ACアダプターを使用すると、送信機に置いてスピーカーを充電することなくスピーカーをお使いいただけます。スピーカー用ACアダプターはサービス部品としてご用意しております。ご購入の際は、お買い上げの販売店にACアダプター(JD1005-000)とお問い合わせください。

- 1 スピーカーの外部電源入力端子にACアダプターを接続する。
- 2 コンセント(家庭用AC100V)に接続する。

・長時間お使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

・ACアダプターを接続中は、スピーカーに充電がされます。



## 充電する

充電する前に、スピーカーの電源を切ってください。

- 1 スピーカーの電源スイッチを左に「カチッ」という音がするまで回し、電源を切る。

電源ランプが消えます。

- 2 送信機の上にスピーカーを置く。

スピーカーの充電ランプが赤く点灯します。点灯しない場合は、スピーカーがきちんと装着されているか確かめください。



充電ランプが消えたら、充電の完了です。約4時間で完了します。

- ・スピーカー用ACアダプターを接続中も、スピーカーの内蔵充電電池に充電がされます。
- ・本機は過充電防止機能を搭載しております。スピーカー用ACアダプターを充電完了後、接続していても、過充電にはなりません。

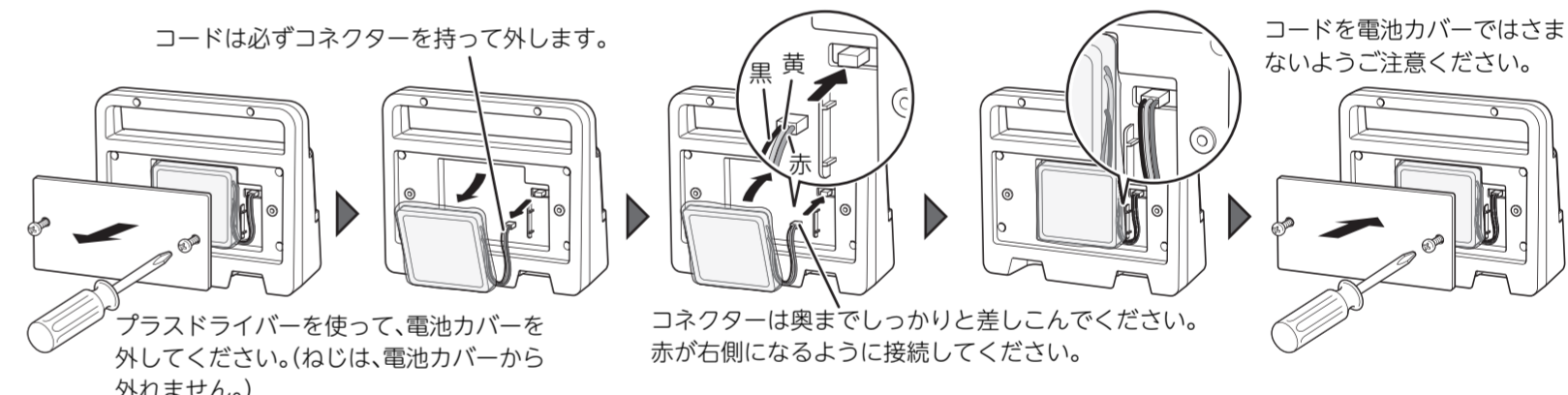
## ご注意:

- ・指定以外の充電電池は使用しないでください。
- ・スピーカーの電源が入っていても充電できませんが、充電時間は長くなります。
- ・気温が5℃から40℃の場所で充電してください。
- ・十分に充電しても使用できる時間が短くなりましたら充電電池の交換時期です。充電電池を交換するときは必ず指定の充電電池をご利用ください。詳しくは、お買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。

## 充電電池(スピーカー内蔵)を交換する

- ・はじめにスピーカーの電源を切ってください。

コードは必ずコネクターを持って外します。



十分に充電してもスピーカーを使用できる時間が短くなったときは、内蔵の充電電池を交換してください。新しい充電電池は、本製品をお買い上げいただいた販売店、または最寄りのサービス窓口でご注文いただけます。(JD1006-000とお伝えください。)なお、取りはずした充電電池はリサイクルができます。充電式電池リサイクル協力店にお持ち込みください。

## ご注意:

- ・スピーカー用ACアダプターを接続している場合は、あらかじめスピーカー用ACアダプターを外してから、充電電池を交換してください。
- ・電池交換または廃棄以外の用途で電池カバーを開けないでください。

## 故障かな?と思ったら

- \* 電源が入らない
  - ➔ スピーカーの内蔵充電電池を充電してください。
- \* 電源を入れても音が出ない
  - ➔ 送信機にACアダプターを正しく接続してください。
  - ➔ 送信機とソース(音源)機器を正しく接続してください。
  - ➔ ソース(音源)機器の電源を入れて、再生を開始してください。
  - ➔ ソース(音源)機器の音量を上げてください。
  - ➔ スピーカーの音量を上げてください。
  - ➔ 送信機とスピーカーを近づけてください。
- \* L側(左)からしか音が聞こえない
  - ➔ モノラル機器に接続すると、L側(左)しか聞こえません。
  - ➔ 別売りのアダプター(AP-112A)をお使いください。
- \* 音がひずむ
  - ➔ スピーカーの内蔵充電電池を充電してください。
  - ➔ ソース(音源)機器の音量を調節してください。
  - ➔ スピーカーの音量を下げてください。
- \* 音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る
  - ➔ スピーカーの内蔵充電電池を充電してください。
- \* 送信機とソース(音源)機器が正しく接続されているか確認してください。
- \* 送信機とスピーカーの周辺にある、2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。
- \* 充電できない
  - ➔ 送信機にスピーカーをきちんと装着してください。
  - ➔ 送信機の充電端子にゴミなどの異物が付着していないか確認してください。
  - ➔ ACアダプターの接続を確認してください。
  - ➔ スピーカーの内蔵充電電池を新しいものと交換してください。